

事務事業評価シート

評価年度	平成29年度	対象事業年度	平成28年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	企画政策部 企画広報課 企画政策グループ 山田 寛大	評価責任者 (担当課長)	企画広報課長 増田 広康
----------	----------------------------	-----------------	--------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	広域行政事業(葛城広域行政事務組合分担金)		② 整理番号	01020101-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	自立するまちづくり		
	節	広域行政の推進		
	項	広域行政の拡充		
	号	葛城ふるさと市町村圏事業の推進		
④ 関連する個別計画			⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	葛城広域行政事務組合同約			

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	経済圏及び生活圏の拡大に対応した行政サービスを実施する。 都市機能を近隣市町と連携して分担する。
② 対象 (誰・何を対象として)	・圏域内(大和高田市・御所市・香芝市・葛城市・広陵町)の住民 ・葛城広域行政事務組合
③ 手段 (どのようなやり方で)	・広域行政事務組合での事業実施を推進するため、4市1町で分担金(均等割・人口割)を負担する。 ・構成市町の企画担当課長によって構成された企画担当課長会議において、広域事業の企画立案を行う。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	・葛城広域行政圏域の都市機能の強化 ・事務事業の共同化 ・交通体系の整備 ・教育・文化スポーツ等の地域間交流の促進

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位：千円、人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 直接事業費	3,345	3,602	4,048	5,374	(予算) 4,918
② 概算人件費	(0.05) 377	(0.06) 456	(0.07) 489	(0.07) 474	
一般職員(職員数)	(0.05) 377	(0.06) 456	(0.07) 489	(0.07) 474	
嘱託職員(職員数)					
臨時職員(職員数)					
③ 合 計 (① + ②)	3,722	4,058	4,537	5,848	0
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					
⑤ 一般財源 (③ - ④)	3,722	4,058	4,537	5,848	0

4. 評価指標

種類	指 標 名	指標の算出方法等	実 績 値			
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
活動指標	① 管理者会議開催回数	年間開催回数	2 回	2 回	2 回	3 回
	② 担当課長会議開催回数	年間開催回数	3 回	2 回	1 回	2 回
成果指標	① 管理者会議出席率	管理者会議出席回数/管理者会議開催回数	100 %	100 %	100 %	100 %
	② 担当課長会議出席率	担当課長会議出席回数/担当課長会議開催回数	100 %	100 %	100 %	100 %
効率指標	①					
	②					

5. 項目別評価

評 価 の 視 点	3段階 評 価	評 価 の 根 拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	少子高齢化・高度情報化・日常生活圏の拡大など広域的に対応すべき課題が多々存在しており、組合の果たすべき役割は、大きいと考えられる。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	職員合同研修事業、葛城子ども安全メール事業、葛城周辺地域イベント事業などには多数の参加者があり、地域間交流の面では成果も上がっているが、広域的な行政サービスの実施に対するニーズが拡大している割に、共同処理する事業の見直しがされていない。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	B	分担金の元となる組合の事業費について、事務事業の見直しなどの働きかけを行い、事業費を削減する余地はあると考えられる。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善・見直しの内容（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）
B	☐ 人件費の重点化 ☐ 予算の重点化 ☐ 事業の縮小 ☐ 事業の統合 ☒ 実施内容の変更 ☐ その他
	組合議会（決算の開催時期について、平成29年度以降は、構成市長の決算議会よりも前に開く（8月開催））。

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し（重点化、縮小、統合など）のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判 定	具体的な改善内容・改善計画（「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。）